

COVID-19 患者の急性呼吸不全に対する ECMO 適応基準

(EOLIA 基準と国内 8 団体からの注意事項を参考に作成)

●以下のいずれかを満たす場合、ECMO の導入を考慮する

* ECMO 導入には複数の医療者による議論が必要である

1. 通常の ARDS 管理下(肺保護戦略、筋弛緩薬、長時間腹臥位など)で、P/F 比 50mmHg 以下が 3 時間を超えて続く。
2. 通常の ARDS 管理下で、P/F 比 80mmHg 以下が 6 時間を超えて続く。
3. 呼吸回数の設定を 35 に増加させて管理し、 $\text{pH} < 7.25$ かつ $\text{PaCO}_2 > 60\text{mmHg}$ が 6 時間を超えて続く。

●ECMO の禁忌・適応外

*複数の医療者による議論が必要である

1. 不可逆性の基礎疾患
2. 末期癌
3. 慢性心不全、慢性呼吸不全、その他重度の慢性臓器不全の合併は予後が悪い
4. 年齢 65-70 才以上は予後が悪く、一般的には適応外

●ECMO 導入決定時間と導入時間

・正午までに ECMO 導入を決定した場合

→同日日勤帯に導入

・正午以降に ECMO 導入を決定した場合

→翌日日勤帯に導入

*ただし、緊急度や重症度を勘案して適宜変更する。

文責 瀬尾 龍太郎

2020 年 3 月 27 日